葉山の仲間たち

2012年1月25日発行 第八号
NPO法人葉山まちづくり協会
〒240-0112 三浦郡葉山町堀内1874
町立図書館2階
TEL&FAX 046-876-0421
e-mail : office@hayama-npo.or.jp

夕陽と富士ー森戸海岸ー

夕陽に染まり輝く水面と江ノ島や富士山も一望できます。松林の間に沈む夕陽もまた格別です。

みそぎ橋を渡ったら
ひょっこり現れるあずまや。
波の音を聴きながら
過ごすやすらぎのひと時。

森戸神社裏手には「千貫松（せんがんまつ）」といわれる源頼朝公由来の松がある。

訪ねる

不動滝（木古庭）
小さな滝ですが流れ落ちる水の音やマイナスイオンを浴びてどこか懐かしい滝です。

茅山荘（ちざん）（下山口）
紅葉の隠れた見所です。鮮やかな新緑に映える茅葺きの門も道行く人を魅了しています。

山口蓬春記念館（一色）
蓬春が春子夫人とともに育てた庭園。四季を通して多くの花が彩を添えます。

ひと休み

魚佐（堀内）
新鮮なお魚料理が人気で行列ができることもしばしば。
地元の魚も楽しめる。

スターバックスコーヒー（堀内）
コーヒーの香りに誘われて…。
テラス席では愛犬とともにくつろげます。

山城屋（下山口）
薄皮でしっとりやわらかな夫婦まんじゅう。今も昔からの味を大事に守り続けています。

散歩

南郷上ノ山公園（長柄）
緑に囲まれた自然豊かな公園。心も体も開放される広場。

三家橋・落雁橋周辺（堀内） お地蔵さんやお花、ゴイサギ、トンビやカルガモに出会えます！

葉山にこにこ保育園のとなり（長柄）
長柄の奥に季節の花でいっぱいの庭があり、そこには園児のための置物も…。

もうすぐ春！ちょっとそこまで仲間をおもてなし♪

大切な人をおもてなし
したい、いっしょに
行きたくなるような
そんなスポットを
紹介します。

チェック！ あなたのご近所づきあい度

いくつ心当たりがありますか？

地域との関わり・編

★地域の課題や問題となることを知っていますか？
★自分の住んでいる地域に関心がありますか？
★自治体の広報誌や地域の情報紙・フリーペーパーに目を通していますか？
★地域のイベントやお祭りに参加したことがありますか？

つきあい方・編

★ご近所さんの顔をよく知っていますか？
★ご近所さんと会ったらあいさつをしますか？
★ときどき立ち話をしたりしますか？
★困ったときに助け合ったり相談したりしますか？

近所の友人・編

★ご近所に友人がいますか？
★お互いの家族構成を知っているご近所さんはいますか？
★お互いの家を行き来するご近所さんはいますか？
★家族ぐるみで親しくしているご近所さんはいますか？

懐かしの昭和のご近所づきあい・編

★ご近所さんと調味料の貸しかりをしたり、おかずをおすそ分けしたりすることがありますか？
★近所の子どもを叱ったり、ご近所さんに叱られたことがありますか。

・・・ 意外と簡単、ご近所づきあい ・・・

地域の安心・安全の実現のために「ご近所づきあい」の必要性が再認識されています。家族構成やライフスタイルの移り変わりとともに地域への関わり方も変化してきている昨今、どのように地域や近隣と関わっていけばよいのだろう？ という声も聞かれます。簡単です！「知り合いをふやす」そして「みんな仲良くなる」ことです。お互いを知り、日常から深いつき合いを持たなくても、いざというときに支え合える・助け合える心をもつことが大切に思われます。

※ 設問引用サイト
・（財）全国社会保険柄共済会「のびのびネット」
・ランキング情報サイト「となりの芝生」
・「問答家族」レイコママ

NEW! 新規加盟団体の紹介

「葉山町詩吟・詩舞連盟」が登録団体に仲間入り！

詩吟はお腹から大きな声を出すことで健康増進をはかるだけでなく、漢詩で中国の歴史から「三国志」や「李白」「杜甫」を、また日本の歴史上の出来事や人物を、声を出しながら勉強することのできる生涯学習にもなります。

葉山町内では、会館や自宅などを教場にして現在19の教室で月に3～4回活動を行い、葉山文化祭や上部団体の大会などに参加。町内で福祉活動も行っています。

〈問い合わせ〉046（875）3397
✉akira-kamimura3397@clear.ocn.ne.jp
葉山町詩吟・詩舞連盟 上村 章

参加者募集!! 葉山の森を歩こう

寒さに負けず 新しい里山「葉山の森」を歩きましょう♪

〈日 時〉24年2月25日（土）
葉山図書館階段下 10時集合
〈コース〉葉山図書館～仙元山～葉山の森～森戸川林道～二子山～南郷公園
14時解散予定
〈定 員〉25名（小学生以上健康な方）
〈持ち物〉昼食・飲み物・帽子
〈参加費〉300円（保険料・資料代）
〈申込み〉046（878）7431
二子山山系自然保護協議会 伊東

写真投稿お待ちしてます

テーマは「葉山の鳥」。身近な鳥や山で出会う野鳥などの写真をお送り下さい。協会HPに掲載。応募は①メールか②郵送で。氏名・住所・電話・コメントをお忘れなく♪

イベント情報 2～3月

節分祭

厄を払って福を招き入れる神事。祭典の中で豆まきが行われ、福豆の授与もあります。
2月3日（金）10時～
森戸神社にて
046（875）2681

アミスタ会

みんなで楽しく、よく知っている歌を歌います。
2月12日（日）14時～16時
福祉文化会館大会議室
046（875）0029
60才からの音楽教室 高梨

新しいスポーツですよ

葉山公園で「朝ツナ」

隔週金曜日の朝、綱渡りを楽しんでいる団体があります。名前は「朝ツナ」、代表の寒川一さんに話を伺いました。

――スポーツの名称としては、スラックラインという名前が定着しつつあるようですが、寒川さんはスラックラインとどのような出会いだったのでしょうか？

3年ほど前にロッククライマーの友人から「このような遊びがあるよ」と知らされました。やってみると全く綱（ベルト）の上にのることができなかったんです。その頃はスラックラインという名も日本には伝わっていなかったようです。

――会の発足はいつごろですか？

朝ツナという名称なしに、葉山公園で開催したのは2008年の春で、参加者は私を含めて3人でした。朝ツナとして定期開催するようになったのは2009年の6、7月ごろです。とくに会員登録のようなものはありませんが、30人ほどの仲間がいます。開催すると15人ほどが参加しています。

すぐ夢中になる楽しさ

――このスポーツの起こりについて教えていただけますか？

1960年代に米国ヨセミテ公園を中心にロッククライマー達の間でバランストレーニングとして始まったと聞いています。今は幅5センチ位のベルト状のものを使用していますが初期は登山用のザイルを木の間に張っていたようです。

私が始めてしばらくすると、ギボンというベルトのメーカーの人が訪ねてきました。スラックラインを広めるためでしたが、私がすでにやっているというと、とても驚いていました。この時の事も朝ツナとして本格的にスタートするきっかけになりました。

一見のんびりしたスポーツですが、現在では世界大会もあり、一対一で交互にトリック（逆立ち、回転、ジャンプ、宙返りなどの技）を競い、審判の判定で勝敗を決める正式な競技です。その日本代表も朝ツナに参加して宙返りなどを見せてくれることもあります。

――ヨット同様に葉山がスラックライン発祥の地なのかもしれませんね。

サンノット　046（845）5550

葉山でできる被災地支援

福島の子どもと遊ぶ海の仲間たち

福島県から来た子どもたち55名（保護者2名含む）が葉山の海と山を体いっぱい楽しみました。

2011年12月29日（木）、厳しい寒さがゆるみ青空に恵まれた日、森戸、一色の海岸と三ヶ岡山をハイキングした子どもたち。いろいろな年齢の子とボランティアを組み合わせたグループで元気に歩きました。

三ヶ岡山山頂で全員集合し、ボランティア手作りのお弁当を食べた後、木登りをしたり、また、全員で鬼ごっこをして遊びました。

海では砂浜や岩場で貝がらやシーグラスを集めました。男の子のなかでは石切りを競うのも流行。波打ち際で裸足になりジーンズをたくし上げ、または脱いで下着になり海水に入っていた子もいます。暖かいとはいえ12月、濡れたジーンズを懸命に乾かすボランティアの姿も。たくさん体を動かし、真っ赤な夕日が海に沈むまでたっぷり遊びました。

ふだん外遊びが制限されている子どもたちを屋外で思いきり遊ばせたい、とスタートした「ふくしまキッズ」（福島の子どもを守ろうプログラム実行委員会）。2011年の夏休みに北海道の各所で1～5週間、約480名（幼稚園の年長児から小学6年生）が参加して夏季林間学校が行われました。

その冬休み編として企画された「ふくしまキッズ冬のプログラム」横浜（ほかに北海道、愛媛）。その中の葉山での活動をNPO法人オーシャンファミリー海洋自然体験センターが引き受けました。オーシャンファミリーは東日本大震災のために「災害支援海の仲間たち」を立ち上げ、鳴き砂の浜の清掃活動などに取り組んできました。

思いきり遊んだ子どもたち

今回、子どもたちの引率、世話、食事作りのボランティアを募集したところ、予想を上回る64名の応募があり、スタッフふくめ総勢92名が活動を支えました。

息のながい支援を続けていこうとしている「ふくしまキッズ」プロジェクト。春休みには、三浦ふれあいの村で7日間のプログラムが予定されています。

NPO法人オーシャンファミリー 海洋自然体験センター　046（876）2287

まちづくり館で防災座談会

役場と町内会との連携が課題

館ギャラリー展示「備えよう。～葉山の地震を考える～」を見ながら、11月25日、町内会の代表や関係者に話をうかがった。

上田氏（つつじヶ岡町内会） 今度の津波のことを考えると子供（とくに海岸から遠いところに住む）が海岸に遊びに行くことへの対応が必要。1次避難場所である青少年会館の改築は来年の予定なので当面は葉山小学校に。飲料水は井戸の活用をしたいがポンプが作動不良だ（現在は高機能のものに交換され問題ない）。

三橋氏（鐙摺町内会） 展示の関東大地震については生き字引がいるので、その人に聞いたらよかった。チリ地震の時、鐙摺港の水が全部引いたが3・11では少し残った。潮位は2m上がった。大津波警報の発令を受けて道路から海寄りの家は避難させた。一軒ずつ回って避難を促し、高台のマンションへ。発電機があったのでテレビが見られ情報は得られ、午後7時には解除した。このことは消防関係者に伝えたが対策本部には伝わらなかった。

小峰氏（諏訪町町内会） 朝日ビールの保養所に避難し72名が泊まった。電話が通じないので消防車を止めて弁当を要請。ごはんと毛布が届いた。翌朝、即席麺とペットボトルの飲料水が一人1本ずつ届いた。避難を断る老人もある。その場合は若い人がつく必要がある。今後の課題の一つ。

高梨氏（木ノ下町内会） 電柱の海抜表示は効果があると思う。木の下地区は低いので近くの関東学院セミナーハウスと協定を結び一時避難所とし、そこから葉山小学校へ移動することにしている。

国藤氏（長柄下町内会） これまでは津波より台風の方を意識してきたが津波が森戸川を逆流することも考えるべき。会館や避難所が狭く、防災訓練も思うようにできていないが、毛布など倉庫の備蓄品、発電機など年1回点検・試運転を実施している。自主防災を検討中である。

矢嶋氏（牛ヶ谷戸町内会） 21年9月、「防災ネットワーク」の学習会に参加しマップの必要性を痛感しすぐ作成に取りかかった。3・11後は専門家の協力を得て戦後の航空写真をもとに作業。パトロールをしながら危険箇所を調べたが土砂災害が心配である。ここから見えてきたことは「弱者に対する対策の必要性。独居老人の把握」など。さっそく緊急時にも日常的にも独居老人などをサポートする体制を立ち上げた。

マップから見えてくるもの

今後は町内会のパトロール、ふれあいサークル、子供会活動を基本に、①防災マップの充実と防災組織の確立、②ふれあいサポーター要員の拡充、③町内会だよりの活用、④防災機材の充実、を図る。

この他にも、避難所である葉山小学校に発電機の必要性。防災対策の強化について町役場も警察と足並みをそろえてやってほしい。警察など官公庁の異動の際の引継ぎの重要性。避難に際してペット対策。町内会での地区社会協議会の必要性など、参考になる意見が多く、行政も真摯にこれらの意見を取り上げて対応してもらいたい。また当協会も町内会との連携の必要性などを痛感した。

ちょっと足をのばして

運慶の仏像がある秋谷の浄楽寺

秋谷の浄楽寺には運慶作の仏像が合わせて5体あります。阿弥陀三尊像、不動明王像、毘沙門天像は毎年三月三日と十月十九日に公開され、多勢の人が集まります。

源頼朝が父義朝の菩提を弔うために奈良の仏師成朝に造らせたものと伝えられていた毘沙門天像の内から昭和34年に杓子状の銘札が発見され、鎌倉彫刻の第一人者運慶が小仏師10人を率いて和田義盛とその夫人のために造立した像と判明しました。

阿弥陀如来像はヒノキの寄木造りで全体に大きくお顔も肉付きよく、ふっくら重量感があります。目は彫眼で拝む人をとらえて話しかけるようです。両脇の観音、勢至の両菩薩立像も豊かな流れるような美しさで衣文も写実的で心ひかれます。不動明王像、毘沙門天像もヒノキの寄木造、目は水晶をはめこんだ玉眼が用いられ力強さがみなぎります。

浄楽寺は郵便制度の創始者である前島密（ひそか）の墓があることでも知られています。新潟出身ですが温暖なこの地を好み、何より富士山を眺めるのが好きで寺境内の池のそばにあった家で晩年をすごしました。毎日のように眺めて歩いた所に富士山の形をした墓が建てられています。

公開日のほかは、運慶作の拝観には予約が必要です。ふだんの日は人影少なく、無縁仏の墓石に刻まれた石仏にやわらかな陽光がふりそそいでいます。

浄楽寺　046（856）8622
JR逗子駅　バス2番乗り場　佐島マリーナ入口行（逗7・71）約25分「浄楽寺」下車